



かたはSP学生Office

教師を目指す学生による「学生文化」「学校文化」の創造と
新たな「学生と学校のWin-Winの関係」の構築

かたはSP通信

と
ひ
と
ツムぐ学生

第30号

2017年8月8日

編集 竹内稔博

(東浦中学校主幹教諭)

夏休みわくわく算数・数学教室特集号 No.9

～そうだ、夏は、東浦へ行こう！ 東浦の子どもたちのために、
そしてSPさん自身の教師力向上のために～

8/8午後 C君の「成長」とそれを支援するSPさん



C君。中学1年です。小学5年生の頃からわく算に参加していました。気分がむらがあり、集中することが苦手な生徒です。いやになったら、話を聞けませんし、学習に向かいません。教える側にとって、難しい、しかし、なんとかしてあげたい、支援したい、そんな生徒の一人です。

遠くから見えていました。それがこの写真です。担当のSPさんは、根気強く話を聴いてあげて、根気強く待ち、根気強く教えてくれました。見事な支援でした。最後は、なんと、笑顔で終わることができました。

中学になって「わく数」がある、このアナウンスは実はあまり大々的にやらなかったのですが、それでも紙面1枚で申し込み、こうして暑い夏に来てくれた、この事実だけでもすばらしい。C君の成長を感じます。そして、そのC君を根気強く支援できたSPさん。すごいです。

このSPさんに聞いてみました。「大変だったでしょう」「はい、最初はやる気が全然なくて大変でした。話をじっくり聞き、困っているところ、分からないところを聞き、丁寧にやりました。

た。ぼく自身、数学が苦手なところもあって、分からない子の気持ちが少し分かったので……。誠実なSPさん、その思いがきっとC君にも伝わったのでしょう。

これも「わく数」のドラマです。C君を担当する数学教師に、このSPさんの活躍と彼の表情をすぐに伝えたい、と思いました。